

本学における DX による教育の質的向上に関する取組みについて

1. 目的

本学において DX を積極的に取り入れることにより、「学修者本位の教育への転換」を目指すとともに、教員と学生および教職員間の情報共有の促進を図り、本学の教育の質的向上を目指す。

2. 取組内容

(1) 学修ポートフォリオシステムの導入

学修ポートフォリオシステムを導入することにより、学修成果の効果的な達成を促す仕組みとして、学生自身が学修の達成状況を点検し、振り返りを通じて自律的に学修する習慣を身につけることを期待する。さらに、学生の習熟度のデータ（成績評価や GPA 等）を教員が把握し、当該データをもとに、以下の取組を実施する。

- ①学生の学修状況に応じた科目履修等の学修計画に係るアドバイス等を実施する。
- ②学びと教育のプロセスを可視化し、そのプロセスを学生と共有することで、学生の学修行動を把握する。
- ③学生の成績データ等を可視化するとともに、当該データに基づき、学内検証を行い大学全体の教育課程の編成等における改善策について検討する。

(2) 教職員を対象とした技術支援・教育支援体制の整備

本学では、ICT を活用した教授法に対する技術面・教育面での支援のために、以下の取組を実施する。

- ①教育開発・学習支援センターが主催する授業研究会を活用して、教職員に対して ICT を利活用した効果的な教育手法に関するアドバイスを行う。
- ②教学マネジメントWGが中心となり、学修ポートフォリオシステムの管理や入力・活用方法についてアドバイスを行う。

(3) ICT 環境の整備

本学では、ICT 環境の整備のために、以下の取組を実施する。

- ①今後 10 年の最新 ICT 機器の利用を見据え、棟内ネットワークと学内 Wi-Fi の更新。
- ②学生 PC 必携化（BYOD）を踏まえた、演習室システムの更新。
- ③学生の利便性向上を目指し、Teams、学生ポータルサイト、学修ポートフォリオシステムのシングルサインオン化。

(4) セキュリティへの対応に係る大学全体としての方針

本学では、情報セキュリティ強化のために、以下の取組を実施する。

- ①学校法人大同学園情報セキュリティ対策基本方針の策定および施行。
- ②大同大学情報セキュリティ小委員会の設置。
- ③大同大学情報セキュリティ対策基本規程の策定および施行。
- ④大同大学情報セキュリティ対策基本基準の策定および施行。

3. 取組の目標と目指す成果

(1) 取組目標

①学生指導

学生による学修ポートフォリオへの振り返り・目標管理記入率 100%を目指す。

学生の記入に対する指導教員のフィードバック記入率 100%を目指す。

上記の取組を前期・後期（年2回以上）に実施する。

学生の学修計画について、より学生個人に最適なものとなるようアドバイスをを行う。

②授業改善

I C T機器等の授業活用事例等について、F D研修会を開催する。

③教育課程の編成等の見直し

得られたデータをアセスメント・プランに基づき評価し、教育課程の編成や科目等の
不断の見直しに活用する。

(2) 成果目標

①学生のニーズや社会情勢等に合致した魅力ある教育課程の編成等を実現し、カリキュラムの満足度 80%以上を目指す。

②学生指導の充実化により、学生の希望する進路の実現 80%以上を目指す。

③学修ポートフォリオの活用により、教員と学生間のコミュニケーションを深め学びの質の向上を目指す。

④学内のシステム相互の体系的な連携を図り、学務事務の効率的な遂行が可能となる体制を目指す。